



竹田市の長湯温泉街

旅館組合がこいのぼり

「地域から元気」逆風に負けぬ

芹川の上を泳ぐこいのぼり15日、竹田市直入町



【竹田】竹田市直入町の「逆風に負けまい」と気持ち新たに。長湯温泉旅館組合（松尾久住組合長、14軒）は15日、温泉街を流れる芹川にこいのぼり約50匹を掲げ、街に彩りを添えた。新型コロナウイルスの感染拡大で宿泊客が減る中、旅館関係者は

昨年より10匹増、力強く



「コロナなんかには負けない」と声をそろえる長湯温泉旅館組合の組合員たち

た。7人がかりで川の両岸にワイヤを張って飾り、風を浴びて力強く泳ぐ姿を眺めた。週末には、近くの湯乃原天満社に直径約2尺の「茅の輪」を設置。「疫病退散の祈りを込め、終息するまで誰でも自由にできること」ができるようにする。市内では14日までに9人の感染が確認された。同組合によると、宿泊客数は大きく落ち込んでおり、ほとんど

竹田市直入町の長湯温泉旅館組合は、温泉街を流れる芹川にこいのぼり約50匹を揚げました。

2020年4月16日付
大分合同新聞 14面

①温泉街を流れる芹川にこいのぼりを掲げる活動は今年で何回目でしょう？

7回目

②新型コロナウイルスの感染拡大によって、長湯の温泉街にはどんな影響が出ていますか？

宿泊客数が大きく落ち込んでおり、ほとんどの施設が例年の1割以下。

キャンセルが相次いで予約がゼロになる日も。

③「こういう時期こそ元気をアピールしよう」と今回、取り組んだことは？

こいのぼりを昨年より10匹ほど増やしたほか、週末には近くの湯乃原天満社に「疫病退散」の祈りを込めて「茅の輪」を設置。

④こいのぼりを掲げた人たちは今、どんな思いですか？

「逆風に負けまい」「経験したことのない難局を乗り越え、温泉街に再びにぎわいを取り戻したい」